

2025NFA サッカーリーグ U-13 開催要項

- 1 趣 旨 (一社)奈良県サッカー協会は、次代を担う U-13 年代の公式戦機会を確保し、技術向上と健全な心身の育成を図ること及び第3種登録チームの交流を目的として、本大会を実施する。
- 2 名 称 NFA サッカーリーグ U-13
- 3 主 催 (一社)奈良県サッカー協会
- 4 主 管 (一社)奈良県サッカー協会 第3種委員会
- 5 協 賛 (株)ミカサ
- 6 期 日 【プレミア】 2025 年 10 月 4 日 (土) から 2026 年 1 月 31 日 (土) までの期間を予定
【チャレンジ】 2025 年 10 月 4 日 (土) から 2026 年 2 月 23 日 (日) までの期間を予定
※入替戦は次年度に新チームで行う。
※関西ヤマトタケルリーグ2部昇格戦は 2026 年 2 月 7 日 (土) に OFA 万博 FC (A) で開催予定。
- 7 会 場 奈良県内各会場
- 8 大会形式 NFA サッカーリーグ U-13【プレミア】《2回戦総当たり》
■ 優勝チームは関西ヤマトタケルリーグ(2部)昇格決定戦への出場権を得る。
■ 原則 8 チームでの実施とする。(昨年度の順位を参考)
■ 下位 2 チームは入替戦の対象となる。(次年度の参加チーム数により最終決定)
NFA サッカーリーグ U-13【チャレンジ】《2回戦制 ⇒ 前期 1 回戦／後期 1 回戦》
■ 参加チーム数が多い場合は、複数ブロックに分けて開催する。(抽選でブロック分けを実施)
■ 入替戦への出場資格は上位リーグ 3 位までの内、上位もしくは権利を有する 2 チームとする。
(4 位以下を繰り上げない)
■ 合同チームの参加を認める。(プレミアへ昇格することはできない)
■ 複数編成チームの参加を認める。
※チャレンジリーグの大会形式は現時点の案であり、申し込みチーム数等の状況を総合的に判断し、
9 月 15 日(月祝) 監督会議時に最終決定した競技方法を提示する。
- 9 参加資格 2025 年度(財)日本サッカー協会に第3種登録したチームであり、次の条件を満たしていること。
(1) 2012 年 4 月 2 日以降の出生者を対象とする。
(2) (公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、第4種年代、女子の選手の出場が可能である。その場合は、必ずクラブ申請(回答)の写しを提示すること。
大会エントリー時に必要な 3 種年代の選手は最低 8 名で、最小選手数は 11 名とする。
4 種年代、女子の 1 試合の同時出場は最大 3 名とする。
(3) 選手数(協会登録)が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合のみ認めることとする。
① 合同するチームは、3 チームまでとする。
② 合同するチーム及びその選手は、それぞれ上記(1)(2)の条件を満たしていること。
③ 極端な勝利至上主義を目的とする合同でないこと。
④ 大会参加申し込みの手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う。
⑤ 合同チームとしての参加を第3種委員長が別途了承すること。
※ プレミアへ出場することはできない。
(4) 同一チームによる複数編成チームの出場を認める。
但し、各チームそれぞれに指導者がいることを条件とする。
※複数編成チームが同時にプレミアへ出場することはできない。

※チャレンジに複数チームが出場する場合で、上位下部リーグ制になった場合は、上位リーグには1チームしか出場できない。

※ヤマトタケルリーグ（関西リーグ）に出場しているチームの複数チームの出場を認める。

但し、ヤマトタケルリーグのプロテクト選手は出場できない。

プロテクト選手の規定については、プレミアも同規定で行う。

プロテクト選手名簿については、期日までに提出する。

(5) 選手は、当該チームに登録を済ませていること。

(6) 共通理解事項として、以下の条件を確認しておく。

①登録完了日とは、(社) 奈良県サッカー協会事務局の承認日であること。

②チームとして、有資格審判員の帯同が可能であること。(1～2名)

10 競技方法 (1) リーグ戦における順位決定方法は勝ち＝3点／引き分け＝1点／負け＝0点の勝ち点により多い順に決定する。尚、同一の場合は、以下の項目に従い決定する。

【プレミア】 ① 当該チーム同士の対戦成績

② 全試合のゴールディファレンス(得失差)

③ 全試合の総得点

【チャレンジ】①全試合のゴールディファレンス(得失差)

②全試合の総得点

③当該チーム同士の対戦成績

※ ①～③の項目において同一の場合は、当該チーム同士が同一ピッチ上に残っている場合は、ペナルティーキック方式により決定する。同一ピッチ上にいない場合は抽選により決定する。

(2) 諸事情〈不測の事故及び人数不足(7人未満)〉による1試合のみの棄権については、その試合のスコアは0-5とする。

(3) リーグ戦途中から、それ以降の試合をすべて棄権するチームが出た場合も同様にスコアは0-5とするが、これによりゴールディファレンス等で順位に影響を及ぼす場合は棄権チームとのスコアはすべて削除する。

(4) 試合時間 60分(30分-10分-30分)とする。

(5) ピッチサイズは、プレミアリーグ・チャレンジリーグともに原則としてフルピッチ(105m×68m)で行う。

11 競技規則 (1) 最新の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。

(2) 選手交代は14名までとし、一度退いた選手も再び出場できる「再交代」は実施しない。

交代回数は各チーム最大3回までとする。ただしハーフタイムでの選手交代は、交代回数には含まない。

※脳震盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは次の通りとする。

a. 脳震盪またはその疑いのある選手の交代(以下、「脳震盪交代」という)は通常の交代には含まれない。

b. 脳震盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳震盪交代の交代回数をそれぞれ1回とカウントするものとする。

c. 脳震盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる。(以下、「追加交代」という)。ただし、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。

d. 1試合における各チームの脳震盪交代および追加交代の交代人数はそれぞれ1名とする。

(3) ベンチ入りできる役員数は、5名までとする。(選手不可)

(4) 退場処分を受けた者、または警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。退場処分選手(未消化)は順位決定戦、プレミア入替戦および次期大会に持ち越す。警告の累積については、1回の場合は順位決定戦、プレミア入替戦および次期大会に持ち越さない。それ以外に処遇を奈良県3種規律委員会にて審議、決定する場合がある。

- (5) 日没、雷等により試合続行が不可能と判断された場合は、サスペンデッドゲームとし、後日試合を中断する前の状態から再開する。したがって、両チームの出場メンバーは原則として変更することが出来ない。ただし、中断前の試合で出場していた選手が続行試合当日にけがや疾病などを理由に出場できない場合など、不可抗力による選手交代は交代メンバーの中で認められる。尚、雷等の場合、中断時間は60分を目安とする。その判断は、主審が会場責任者と協議の上、決定する。

12 審判員

- (1) 審判員は必ず有資格者であること。
(2) 副審のみユース審判も可能とする。 審判服を必ず着用すること。
※体力面、審判機会創出の為、ユース審判は前半後半の交代を可能とする。
《注意》交代のある場合は、後半交代する審判も試合前、審判の打合せに参加すること。
(3) 審判証を提示できるようにしておくこと。

13 選手の追加・移籍等

- (1) リーグ期間中に追加選手エントリーをする場合は、3種委員長に連絡し（一社）奈良県サッカー協会の証明を提出、選手登録番号が確定した時点でエントリー用紙に手書きで追加すること。
(2) リーグ期間中に移籍した場合は、3種委員長に連絡し奈良県サッカー協会の証明を提出、移籍完了日より2節の出場を不可とする。但し、一家転住等の理由により移籍した選手が大会参加を希望する場合は、3種委員長の別途了承のもと、大会への参加が認められる。

14 その他

- (1) チーム代表者は必ず第1試合の開始30分前（各会場にて変更可）に本部に集合し、運営にあたること。但し、競技場の準備等（補助員等）については、別に会場担当及び大会本部より連絡をすることがある
(2) 選手のエントリーは、所定の用紙を使用し行うこと。チームの初戦打ち合わせ時に、本部へ2部提出しチェックを受ける。（1部は本部預かり）以後、チェックを受けたエントリー用紙の複写を各試合のエントリーメンバー票とする。また各試合30分前までにエントリーメンバー票の先発メンバーに「○」印を打ち、本部に2部提出すること。
※チャレンジに複数チームで出場する場合は、抽選会時にエントリーメンバー票を提出する。
(3) ユニフォーム規定は以下の通り
①選手はすべて同一の服装であること。
②ゴールキーパーの服装は他の選手と区別できる服装であること。
③ユニフォームは色違いのものを2着用意すること。同系統色が重なった場合、コイントスの上、一方のチームにユニフォームの変更を求める。
④シャツの前面・背面に登録した番号を付けること。
⑤ユニフォームへの広告表示については、（公財）日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。但し、（公財）日本中学校体育連盟加盟チームは、連盟規定によりこれを認めない。尚、広告が掲載されたユニフォームを着用する場合は、（公財）日本サッカー協会発行の「広告掲示回答書」のコピー（PDF）を3種委員長へ提出すること。
⑥競技者の安全の為に一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
⑦アンダーシャツは、シャツの袖の主たる色と同じ色で1色とする。またはシャツの各袖と全く同じ色の柄にする。アンダーショーツおよびタイツは、ショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。
⑧ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。
⑨セパレートタイプのソックスについては、ソックス部分とストッキング部分のカラーについては同色のものを着用する。また、セパレート以外ではソックスへの一切の加工（穴あき等）をしたものは着用を認めない。
⑩競技者が傷害防止のためにサポーター等をソックスの上から装着する場合は、ソックスの色と異なる色でも可とする。

チャレンジのみ以下の緩和措置を適用する（大会前に必ず相談してください）

- A) 本競技会に登録した1着以上のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。（2着以上の持参が好ましい）
 - B) ユニフォームデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
 - C) ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
 - D) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがピプス等を着用することを決定する。
 - E) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - F) アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - G) キャプテンが着用するアームバンド
 - ①フィールド上にアームバンドなどを着用したキャプテンがいることを必須としない。
 - ②アームバンドの代用としてテープなど着用することができる。
- (4) 大会参加チーム（選手・応援者等）は、会場施設の美化（喫煙等を含む）と使用マナー（車両の乗り入れ・駐車等）に配慮すること。応援は各会場より指定された場所で行うこと。観戦マナーにもチーム代表者として十分注意を払うこと。以上の点について、大会関係者から指摘があった場合、奈良県3種規律委員会に諮り、その処遇を決定する。
- (5) 試合球はJFA公認5号球新球（ミカサ製品）を使用する。
- (6) 各チームの登録選手は、原則としてJFA 発行の選手証（電子選手証）を持参しなければならない。但し、写真貼付により顔の認識ができるものであること。
※電子選手証とは、JFA のWEB 登録システム「KICKOFF」から出力した「登録選手一覧」（番号順）をカラー印刷したものを原則とする。
- (7) チームの責任において、参加者全員が傷害保険に加入すること。
大会期間中の負傷及び疾病に対して、各チームで対応し、主催者はその責を負わない。
また、物損等の場合も同様とする。
- (8) 大会規定の違反、その他不都合な行為があった時、または大会要項に規定されていない事項については、奈良県3種運営委員会において協議の上、対応を決定する。

15 表 彰

《チーム表彰》

NFA サッカーリーグ U13【プレミア】

優勝、準優勝、第3位チームに表彰状を授与し、優勝チームには優勝杯（持ち回り）、準優勝チーム・第3位チームにはトロフィーを授与する。尚、優勝チームにはレプリカ（トロフィー）を授与する。また、フェアプレー賞を設ける。フェアプレーポイントが同じ場合は、順位が上のチームを表彰する。

NFA サッカーリーグ U13【チャレンジ】

優勝、準優勝、第3位チームに表彰状を授与し、トロフィーを授与する。

《個人表彰》

最多得点者 1名 トロフィーを授与する（プレミア1名）

優秀選手賞 2名 トロフィーを授与する（プレミア・チャレンジ優勝チームより各1名）